

秋田の食材を詰め 込んで世界に発信!

「秋田×美味しいを発信中!」



「秋田は“美味しい”
店ごとに異なる
味を楽しんで」
と阿部さん

YA-YA Stazione B (株式会社フード・ボックス)

〒010-0001 秋田県秋田市中通七丁目1-2 トピコ3F レストランフロア
TEL 018-893-6788 営業時間 11:00~22:00/年中無休 <http://foodbox.jp/stazione/>

秋田の地ビールと秋田の食を気軽に
楽しめるビアパルススタイル。



ゲートウェイで楽しむ秋田



イタリア語で「駅」を意味するStazioneの
名の通り、秋田駅トピコのレストランフロア
に並ぶYA-YA Stazione B。同店を経営する
のは、エリアなかいちや山王大通り、道の
駅ふたつといった県内の観光拠点で秋田
の食を発信している株式会社フード・ボックスだ。各店とも異
なるコンセプトを持ち、阿部淳代表のこだわりの“食”が並ぶ。

「Stazioneは秋田が誇る“田沢湖ビール”と秋田の食材をふ
んだんに使用した欧州料理が中心ですが、一風変わった料理
として“秋田しょっつるアヒージョ”が人気です」。

秋田にはとにかく美味しいものが多いと力強く語る阿部代
表だが、必ずしも食べ方やルーツ等が広く認知されているわ
けではない。そのひとつが『しょっつる』である。阿部代表はよ
り多くの方々に楽しんでもらうため、県内業者で構成された
しょっつる研究会に所属し、自らが考案したレシピを店で提供
することで“食べ方”から提案を行っている。

「食材の宝庫秋田」を未来へ繋ぐ

こだわりは食以外にも随所に見られる。センターの設備貸
与制度を活用して導入したPOSシステムもそのひとつだ。効
率化だけを優先するとタッチパネル式など、様々な方法があ
るが、それでは阿部代表の求めるお客様の“顔を見て”“会話を
しながら”のオーダー受付ができない。かといって、非効率過
ぎてもスタッフの負担
になる。その間を取っ
たバランスの良い設
備を相談しながら決
めていった。

「目まぐるしく変わ
るこの時代、常に最適
なサービスを考え、実
践しなければなりません。どんなに先の未来でも“美味しいも
のを食べたい”という人々の想いは無くならない。これからも
自信を持って秋田の食を発信していきたいと思っています」。



活用事例

設備投資の支援

生産量の増強、新事業への進出等の経営革新、攻めの経営への転換を
検討する企業に対して設備を割賦販売またはリースします。

お問い合わせ 設備・研究推進課 TEL.018-860-5702